情勢報告（平成２８年６月分）

中央西農業振興センター高吾農業改良普及所

ＪＡコスモス茶生産部会が茶摘みツアーを開催

手摘みし、釜で炒った茶葉を手揉み作業をする参加者

６月１１日、ＪＡコスモス茶生産部会は、仁淀川町沢渡地区で４回目となる茶摘み・製茶体験ツアーを開催しました。高知市などから７名が参加し、手摘みした茶葉を釜炒りし、手揉みなどの製茶作業を体験しました。参加者からは「初めての茶摘みや製茶作業は楽しかった。お茶講座で正しい淹れかたがわかった、来年も参加したい」との声が聞かれました。谷脇副部会長からは「体験ツアーに参加してくれてとてもうれしい。多くの方に茶を生産現場から知ってもらい、仁淀茶を愛飲してほしい」との挨拶がありました。

普及所では、ツアーの計画から参画し、参加者募集や茶摘み等の技術指導を行いました。これからもＪＡコスモス管内の茶のファン獲得のために産地を支援していきます。

ＪＡコスモス斗賀野支所管内でピーマン目慣らし会を開催

出荷規格を確認

６月８日、ＪＡコスモス斗賀野支所管内の青ピーマン目慣らし会が行われ、生産者１９名、関係機関９名が参加しました。

園芸連やＪＡからの注意事項の説明後、出荷選別のシミュレーションや１４戸のほ場巡回を行いました。普及所からは、この時期に発生する病害の見分け方や対処方法、土着天敵の種類や見分け方等の情報提供を行いました。

当日は、出荷物を見ながら規格や選別、栽培管理の細かいポイントについて質問や意見を出し合うことができ、生産者からは「早速実際にやってみる」「とても参考になった」という声がありました。

普及所では、今後も個別巡回や目慣らし会を通して情報提供を行うなど、産地を支援していきます。

ＪＡコスモス日高オクラ部会が目慣らし会を開催

６月１３日、日高オクラ部会の出荷前目慣らし会が開催され、１２戸の農家が参加し、規格表や出荷物を見ながら規格や異常果防止対策について確認しました。

普及所からは病害虫防除対策の他、異常果を出さないための樹勢維持管理について説明しました。

日高オクラ部会には栽培経験の短い生産者が多く、病害虫の防除時期や樹勢維持について、参加者同士で意見交換することができました。

普及所では、エコシステム栽培基準を満たす栽培方法の情報提供や新規栽培者への支援を継続していきます。